

農業技術センター



本所（東広島市八本松町原）



果樹研究部（東広島市安芸津町三津）

広島県は多様化・複雑化する県民や県内産業のニーズに対応し、また、複数の技術分野にまたがる横断的・融合的な研究に積極的に取り組むため、農林水産系・保健環境・食品・工業の8センターを統合して、平成19年度に広島県立総合技術研究所をスタートしました。

農業技術センターでは、県内産業や県民生活に貢献する研究機関をめざし、農業技術に関する試験研究と、開発技術の普及に向けた指導や研修などの支援活動を行います。

IoTやAI、ドローンなどのDX(デジタルトランスフォーメーション)技術を融合させ、「収量・品質向上」「省力・軽労働化」「食の安全・安心」をキーワードに、県内農業の発展を支える技術開発・支援に取り組んでいます。

組織・業務内容

技術支援部 TEL (082)429-0522

- 技術相談等の総合窓口として県民サービスの向上を図っています。
- 産学官連携を支援し、共同研究推進のためのコーディネート活動を展開しています。
- 研究活動に関する企画・調整等を行い、横断的・融合的な研究の推進等に取り組んでいます。
- ホームページなどで技術情報を発信しています。



技術情報の発信

栽培技術研究部 TEL (082)429-3066

- 野菜、花き及び水稻等の普通作物の栽培・品種に関する研究を行っています。
- ICT・IoTを活用した環境モニタリングや環境制御により増収・高品質を実現する栽培技術を開発しています。
- 地域に適した品種の選定や栽培管理技術を開発しています。
- ゲノム解析やゲノム編集技術により、新たな品種開発等の企業支援に取り組んでいます。



低コスト環境制御ハウスで、
トマトの多収栽培を実現



品種の生育特性を詳しく確認し、
地域の気候に適した品種を選定



高温登熟でも良品質で、醸造
適性に優れる 酒米新品種
「広系酒45号」(左下)



組織培養によりゲノム編集個体を
植物体まで育成

生産環境研究部

TEL (082)429-2590

- 環境と人にやさしく、安全で省力的な病害虫の総合防除技術を開発しています。
- 難防除や新発生病害虫の発生生態を明らかにし、対策を確立しています。
- 作物の安定生産と環境に配慮した土壌管理方法や養液管理技術を開発します。
- バイオマス資源の有効利用技術を開発しています。



人工気象室で病害発生を再現し、感染条件を解明



虫をよせつけにくいLED街路灯



レーザーレベラーを装着したトラクターによる緩傾斜施工

果樹研究部

TEL (0846)45-5471

- 果樹の高品質・安定生産技術を開発します。
- 省力・軽作業・低コスト栽培技術を開発します。
- 環境保全型農業を推進する病害虫防除技術を開発します。
- 消費者・生産者ニーズに対応した優良品種の育成と選定を行います。



果樹栽培に適応した軒高ハウス



広島県と京都大学が共同で育成したカンキツ新品種「瑞季(みずき)」



抵抗性台木に接ぎ木したイチジク「蓬菜柿(ほうらいし)」



レモンのアーチ仕立て

総務部(管理課)・管理第二課

管理課 TEL (082)429-0521
管理第二課 TEL (0846)45-1225

- 庶務、会計、研究用機具資材の調達、財産・ほ場の管理を行っています。
- 水稲、麦、大豆の原種増殖(審査)、配布等を行っています。



麦の原種ほ場の審査

